



令和2年1月16日
独立行政法人 家畜改良センター
岩手牧場

令和元年度 乳用牛における農場管理技術研修会 「農場HACCP及びJGAPによる農場管理」を開催しました

令和元年12月20日、株式会社学林ファーム取締役 駒井貞二氏を講師に招いて、標記研修会を開催しました。

駒井貞二 講師から、「酪農における農場 HACCP 及び JGAP 認証」と題して、農場の設立経緯から農場 HACCP 及び JGAP 認証取得を目指した動機、導入のための準備、導入後のメリットについて段階毎に分かり易く解説いただきました。特に、職員とコミュニケーションの重要性、目的意識の共通化等を詳しく説明いただきました。

また、岩手牧場からは「JGAP 差分審査とフル審査認証」について。当场と奥羽牧場の JGAP 審査での取り組みを比較し、説明を行うとともに、現地見学で、搾乳施設の紹介と農場 HACCP の取り組み状況等を紹介しました。

参加者からは、認証取得後の従業員のモチベーションを保つ方法や農協・資料会社等の外部団体・企業への理解及び協力方法等について質問がありました。

本研修会には、畜産関係者28名の参加があり、農家指導の立場である県・市町村等の行政担当者も多数参加され、農場 HACCP 及び JGAP 認証の手続き・審査受検等の一連の流れについて学んでいただきました。また、生産者である酪農家の参加もありました。県・市町村等の行政担当者の方々については、これから取得を目指す酪農家に対するご指導等の参考に役立てていただき、また、生産者の方々については、是非、農場 HACCP 及び JGAP 認証を目指していただければと考えております。

これからも、岩手牧場では、農場 HACCP・JGAP 認証農場として、取得のノウハウや農場管理の実践について研修会や講演会を通じて畜産農家に情報を発信していきます。



左：株式会社学林ファーム

駒井 貞二講師による講演の様子。

アンケートでは、管理職員と現場職員との意識づけや認証取得後の農場の変化について参考になったと回答いただきました。

現地見学の様子。

下左：搾乳パーラーでの農場 HACCP 取組状況として、週内の消毒・点検作業の掲示、搾乳作業チェック表記入について紹介しました。

右：機械整備場での JGAP 取組状況として、火気厳禁表示とオイル類の受払簿設置について紹介しました。

